

東亜ディーケーケー(株)
 SDS 番号: C2333353-M01243-24
 製品名: ヨウ化物標準液 0.0282N 1L

作成日 2014 年 9 月 19 日
 改訂日 2023 年 9 月 12 日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : ヨウ化物標準液 0.0282N 1L
 カタログ No : 2333353
 品目コード : HACH0974
 供給者の会社名称, 住所及び電話番号
 東亜ディーケーケー株式会社
 東京都新宿区高田馬場 1-29-10
 担当部門 : 生産部 HACH 技術課
 04-2957-6152
 F A X 番 号 : 04-2957-9906

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康有害性

急性毒性（吸入：蒸気） 区分 4
 皮膚感作性 区分 1
 生殖毒性 区分 1B
 生殖毒性・授乳影響 授乳に対するまたは授乳を介した影響に関する追加区分
 特定標的臓器毒性（単回ばく露）区分 2（甲状腺）
 特定標的臓器毒性（反復ばく露）区分 2（皮膚 甲状腺 全身毒性）

環境有害性

水生環境有害性 短期（急性）区分 3
 水生環境有害性 長期（慢性）区分 3

（上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。）

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
 吸入すると有害
 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
 授乳中の子に害を及ぼすおそれ
 甲状腺の障害のおそれ
 長期にわたる、又は反復ばく露による甲状腺、全身毒性、皮膚の障害のおそれ
 長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。
 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
 妊娠中及び授乳期中は接触を避けること。
 取扱い後はよく手を洗うこと。

東亜ディーケーケー(株)

SDS 番号:C2333353-M01243-24

製品名:ヨウ化物標準液 0.0282N 1L

応急措置	この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
	屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
保管 廃棄	汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
	環境への放出を避けること。
	保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
	皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。
	吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
	ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
	ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。
	気分が悪いときは医師に連絡すること。
	気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。
	特別な処置が必要である（詳細は、SDS4 項：応急措置を参照のこと）。
	皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。
	汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
	施錠して保管すること。
	地方自治体の規制及び環境規制に従って処分する。または都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理する。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物（水溶液）

化学名又は一般名	ヨウ化カリウム	ヨウ素	リン酸水素 二ナトリウム
含有量	1.0-5.0%	<1.0%	<0.1%
化学式又は構造式	KI	I ₂	Na ₂ HPO ₄
官報公示整理番号			
化審法	1-439	—	1-497
安衛法	—	—	—
CAS No.	7681-11-0	7553-56-2	7558-79-4

4. 応急措置

吸入した場合	： 空気の新鮮な場所に移すこと。
皮膚に付着した場合	： 水と石鹼で洗うこと。
眼に入った場合	： 上まぶたと下まぶたを持ち上げ、多量の水で 15 分間以上良く洗うこと。医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合	： 水で口をすすいだ後、大量の水を飲ませること。
急性症状及び遅発性症状	： データなし
の最も重要な徴候症状	
医師に対する特別な注意	： 症状に応じて治療すること。
事項	

5. 火災時の措置

適切な消火剤	： 周囲の火災状況及び環境に応じて、適切な消火剤を使用する。
使ってはならない消火剤	： データなし
火災時の特有の危険有害性	： 酸化カリウム、よう素化合物
消火を行う者の保護	： 消火作業の際は、自給式呼吸器および防護服を着用する。個人用保護具を着用すること。

東亜ディーケーケー(株)

SDS 番号: C2333353-M01243-24

製品名: ヨウ化物標準液 0.0282N 1L

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置
環境に対する注意事項
封じ込め及び浄化の
方法及び機材
二次災害の防止策
- : 適切な換気を行うこと。指定された個人用保護具を使用すること。
漏出区域から離れた風上の安全な場所に退避させること。
: データなし
: 安全に対処できるならば漏えいを止めること。不活性吸着剤（砂、シリカゲル、酸結合剤、万能結合剤、おが屑など）で吸収すること。工具を用いて漏出物を適切な容器に集めること。
: 漏出物と漏出場所は環境規制に従い浄化すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
技術的対策
安全取扱注意事項
接触回避
保管
安全な保管条件
安全な容器包装材料
- : 本製品を使用する際は、一般的な労働安全衛生上の規則に従うこと。
: データなし
: データなし
: データなし
: 容器は密栓し、涼しく乾燥した換気の良い場所に保管すること。
: データなし
: データなし

8. ばく露防止及び保護措置

- 許容濃度
設備対策
保護具
一般的な衛生上の
注意事項
環境ばく露対策
- : OSHA PEL ;
ヨウ素 : (vacated) Ceiling 0.1ppm, (vacated) Ceiling 1mg/m³,
Ceiling 0.1ppm, Ceiling 1mg/m³
ACGIH TLV ;
ヨウ化カリウム : TWA 0.01ppm
ヨウ素 : STEL 0.1ppm, TWA 0.01ppm
: 安全シャワー、洗眼設備、換気設備
呼吸用保護具 : 適切な換気
手の保護具 : 保護手袋
眼、顔面の保護具 : ゴーグル型保護眼鏡、保護面
皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣（長袖）
: 本製品を使用する際は、一般的な労働安全衛生上の規則に従うこと。
: 下水系、地面、及びあらゆる水域への流出を防ぐこと。大量に漏出した場合は地方自治体へ通知のこと。

9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態
色
臭い
分子量
融点／凝固点
沸点又は初留点及び沸騰範囲
可燃性
爆発下限界及び爆発上限界／
可燃限界
引火点
自然発火温度
分解温度
pH
動粘性率
- : 液体
: 暗赤色
: 無臭
: データなし
: 約-1℃; 30.2°F
: 約 100℃; 212°F
: データなし
: データなし
: データなし
: データなし
: 6.3 (20℃)
: データなし

東亜ディーケーケー(株)

SDS 番号:C2333353-M01243-24

製品名:ヨウ化物標準液 0.0282N 1L

溶解度	: 水: 溶解する (>1000mg/L, 25°C; 77°F)
n-オクタノール／水分配係数 (log 値)	: 該当せず
蒸気圧	: 3.15kPa/ 23.627mmHg (25°C; 77°F)
密度及び／又は相対密度	: 1.03
相対ガス密度	: 蒸気密度: 0.62
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 該当せず
化学的安定性	: 適切な条件下にて安定である。
危険有害反応可能性	: 通常使用下にて特になし。
避けるべき条件	: 長期間の空気や湿気へのばく露
混触危険物質	: 強酸化剤、強酸類、強塩基類
危険有害な分解生成物	: 酸化カリウム、よう素化合物

11. 有害性情報

急性毒性	
(吸入: 蒸気)	: 急性毒性推定値 LC50=3500ppm
皮膚腐食性／刺激性	: データなし
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	: データなし
呼吸器感作性	: 混合物の皮膚感作性成分濃度により区分1とした。
又は皮膚感作性	
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: 本製品はACGIH、IARC、NTP、OSHAの発がん性物質リストに記載された成分を含まない。
生殖毒性	: 混合物の生殖毒性成分濃度により区分1B+授乳影響とした。
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: 混合物の特定標的臓器毒性 (単回ばく露) 成分濃度により区分2 (甲状腺) とした。
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: 混合物の特定標的臓器毒性 (反復ばく露) 成分濃度により区分2 (皮膚 甲状腺 全身毒性) とした。
誤えん有害性	: データなし

12. 環境影響情報

生態毒性	: ヨウ素: 甲殻類 48 時間 EC50=0.16mg/L
残留性・分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壌中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし

13. 廃棄上の注意

化学品, 汚染容器及び包装の安全で, かつ, 環境上望ましい廃棄, 又はリサイクルに関する情報	
残余廃棄物	: 地方自治体の規制及び環境規制に従って処分する。または都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理する。
汚染容器・包装	: 容器は再利用しないこと。

東亜ディーケーケー(株)

SDS 番号: C2333353-M01243-24

製品名: ヨウ化物標準液 0.0282N 1L

14. 輸送上の注意**国内規制**

陸上規制情報	: 道路法に従う。
海上規制情報	: 該当せず
航空規制情報	: 該当せず
国連番号	: 該当せず
品名（国連輸送名）	: 該当せず
国連分類	: 該当せず
容器等級	: 該当せず
緊急時応急措置指針番号	: 該当せず
輸送の特定の安全対策及び条約	: 輸送に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷がないように積み込み、荷くずれの防止を確実に行なう。

国際規制**運輸規制情報**

Proper Shipping Name	: Not Currently Regulated
Hazard Class	: Not Applicable
Subsidiary Risk	: Not Applicable
ID Number	: Not Applicable
Packing Group	: Not Applicable

航空規制情報

Proper Shipping Name	: Not Currently Regulated
Hazard Class	: Not Applicable
Subsidiary Risk	: Not Applicable
ID Number	: Not Applicable
Packing Group	: Not Applicable

海上規制情報

Proper Shipping Name	: Not Currently Regulated
Hazard Class	: Not Applicable
Subsidiary Risk	: Not Applicable
ID Number	: Not Applicable
Packing Group	: Not Applicable

その他の情報

本製品はケミカル・キットの一部として出荷されることがある。ケミカル・キットは以下のとおり分類される。国連分類：クラス9（その他の危険物質）、国連番号：3316

15. 適用法令

化学物質管理促進法（PRTTR）	: 該当せず
労働安全衛生法	: 名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9） 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9） 沃素及びその化合物（政令番号：606）
毒物及び劇物取締法	: 該当せず
海洋汚染防止法	: 有害液体物質（Y類同等の物質）（環境省告示第148号第2号） ヨウ化カリウム
道路法	: 車両の通行の制限（施行令第19条の13、（独）日本高速道路保有・債務返済機構公示第12号・別表第2）ヨウ素【積載数量】1000kg
消防法	: 貯蔵等の届出を要する物質（法第9条の3・危険物令第1条の10六別表2）よう素【貯蔵取扱量】200kg以上

東亜ディーケーケー(株)

SDS 番号:C2333353-M01243-24

製品名:ヨウ化物標準液 0.0282N 1L

16. その他の情報

引用文献等

- ① Hach Company SDS No.M01243 (Iodine Standard Solution 0.0282 N)
- ② 化学物質総合検索システム、(独)製品評価技術基盤機構
- ③ ezCRIC 日本ケミカルデータベース(株)
- ④ JIS Z7252-2019 および Z7253-2019

記載内容の取扱い

この安全データシートは各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取扱いには十分注意してください。

また含有量、物理／化学的性質、危険有害性などの記載内容は情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。

なお、注意事項は通常の実験を前提としたものであり、特殊な取扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施してください。

その他

GHS分類は JIS Z 7252 に基づくものであり、HACH社のGHS分類とは異なる場合があります。取扱いの際は、この安全データシートをご参照ください。